

まほろば秦野通信

令和元年12月27日

タイトル	明治時代から秦野で続く 子どもが中心の珍しい伝統行事「石売り」
Where (どこで) Who (だれが)	西大竹の東町(あずまちょう)地区・開戸町(かいどちょう)地区の小学生それぞれ10人程度が、嶽神社(西大竹281)に集合し、地域内の家を歩いて回ります。
When (いつ) What (なにを) How (どのように) Why (なぜ)	<p>明治時代の中ごろから行われていたとされる道祖神の石を売る全国的にも珍しい行事です。この石を買うと、子供に病気や災いが起きないとされています。</p> <p>毎年1月14日のどんど焼きの前に、小学6年生がリーダーとなって、リヤカーで正月のお飾りなどを集め、道祖神の石やお札、おでんを各家庭に売り歩きます。東町地区では、お札を買ってくれた人に、中に小豆飯の入ったおひねりを渡します。売った道祖神の石は、どんど焼きが終わった後、買ってくれた家に取りに行って、元の場所に戻します。</p> <p>【東町地区】 8日(水曜日)午後1時半～石売り、お札売り、お飾り集め 13日(月曜日)午後3時半～おでん売り、お札売り 14日(火曜日)午後3時半～おでん売り、どんど焼き 15日(水曜日)午後4時～石の回収</p> <p>【開戸町地区】 8日(水曜日)午後1時半～石売り、お飾り集め 10日(金曜日)午後3時半～お札作り 13日(月曜日)午後3時～おでん売り、お札売り 14日(火曜日)午後3時～おでん売り、お札売り、どんど焼き 15日(水曜日)午後4時～石の回収</p>
過去の実績	毎年小正月(1月15日前後)に行われます
問い合わせ	生涯学習課 文化財・市史担当 担当:山口 電話0463(87)9581